

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・創造する喜びや楽しさを味わえる題材やこどもたちの発想、思いや願いを生かす題材を設定したことにより、楽しく意欲的に造形活動に取り組む児童が多かった。
- ・安全に配慮しながら、いろいろな教材・教具の使い方を指導し、作品作りを通して正しい道具の使い方について理解させることができた。
- ・ICT を活用して道具の正しい使い方を指導したり、手順を提示したりすることで、道具の使い方や手順をしっかりと理解して、意欲的に活動できる児童が増えた。
- ・参考資料や作品例を多く提示したり、様々な材料、表現方法を体験させることで表現の幅を広げることができた。
- ・鑑賞活動を充実させ、互いの作品のよさを見つけ合うようにして表現の工夫を共有することができ、互いを尊重する心を育てることができた。

(2) 課題

- ・発想、思いや願いを生かして創作するための基本的な技能が身につけていない面もある。
- ・意欲的に自分の思いを生かしながら造形活動に取り組む児童が多いが、高学年になると発想することに苦手意識を持つ児童も増えてくる。
- ・課題に興味を持って意欲的に活動する児童が多いが、話をしっかりと聞くこと、最後まで集中して学習に取り組むこと等の基本的な学習態度が身につけていない児童もいる。
- ・鑑賞活動を充実させるための様々な手段が必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・はさみ、のり、クレヨン、えのぐの使い方などの技能を育てる活動を学習の中に取り入れ基本的な技能の定着を図る。(指導計画) ・教材・教具の使い方を正しく理解させ、安全に作品づくりに取り組ませる。視覚的にわかりやすくするために状況によって ICT 機器を活用する。(授業形態)	・身近な材料を用いて形や色のイメージをもちやすくする。(授業形態) ・イメージが膨らむようなアイディアを出し合う場を設定する。(授業形態) ・発想のヒントとなるような例示をする。(授業形態) ・友達の作品を紹介し、工夫された表現や面白い作品を広める。(授業構成) ・お互いの表し方のよさを感じ取れるように、学習カードを活用したり、タブレットを活用した鑑賞の場を設定する。(授業構成)	・作り出す喜びや、作った後に達成感や充実感を味わえる題材を選ぶ。(指導計画) ・細かい作業のみではなく、ダイナミックな活動やのびのびと楽しめる活動を取り入れる。(授業構成) ・学習の見通しを持ち最後まで集中して活動できるよう、手順や制作のヒントをわかりやすく提示しておく。(授業構成)

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵の具、のこぎり、かなづちの正しく安全な使い方等の基本的な技能を育てる活動を学習の中に取り入れ、全体指導と同時に個々の使い方に合った助言をする。(指導計画) ・ICT を活用して道具の正しく安全な使い方をわかりやすく指導する。 (授業形態)	・様々な資料や作品例を提示し、発想が広がるよう助言と実演を交えて指導をする。(指導計画) ・お互いの作品のよさや発想の違いを感じ取れるように、学習カードを活用したり、作品を鑑賞し合う場を多く設定する。 (授業形態) ・タブレットを活用しての制作活動や鑑賞活動も取り入れる。 (授業形態)	・児童が自分の発想、思いや願いを生かして、楽しく進んで造形活動に取り組めるように、題材やテーマを工夫する。 (指導計画) ・学習の見通しをもち、最後まで集中して活動できるように、手順や制作予定をわかりやすく提示すること、図工学習ルールの徹底することを行う。 (授業構成)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・電動糸のこぎり、のこぎり、かなづちの正しく安全な使い方等の技能を育てる活動を学習の中に取り入れ、全体指導と同時に個々の使い方に合った助言をする。(指導計画) ・ICT を活用して道具の正しく安全な使い方をわかりやすく指導する。 (授業形態)	・様々な資料や作品例を提示し、発想が広がるよう助言と実演を交えて指導をする。(指導計画) ・お互いの作品のよさや発想の違いを感じ取れるように、学習カードを活用したり、作品を鑑賞し合う場を多く設定する。 (授業形態) ・タブレットを作品制作のための資料収集に活用し、発想や構想の力を高めていく。 (授業形態) ・タブレットを活用しての制作活動や鑑賞活動も取り入れる。 (授業形態)	・児童が自分の発想、思いや願いを生かして、楽しく進んで造形活動に取り組めるように、題材やテーマを工夫する。(指導計画) ・個々の主題を大切にし、これまでの学習内容や経験を生かした表現ができる題材を設定する。 (指導計画) ・学習の見通しをもち、最後まで集中して活動できるように、手順や制作予定をわかりやすく提示すること、図工学習ルールの徹底することを行う。 (授業構成)

3 今年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・題材を工夫し、創造する喜びや楽しさを味わえる題材を設定したことにより、楽しく意欲的に造形活動に取り組む児童が多くいた。
- ・安全に配慮しながら、いろいろな教材・教具の使い方を指導することで、けがなく安全に学習を進めることができた。また、作品作りを通して正しい道具の使い方について理解させることができた。
- ・実際に互いの作品を見合う、ICT 機器を活用して鑑賞をするなど、鑑賞活動を充実させることで、互いの作品のよさを感じ取らせ、豊かな心を育てることができた。

(2) 課題

- ・発想を生かして創作するための基本的な技能が身につけていない面もある。
- ・意欲的に自分の思いを生かしながら造形活動に取り組む児童が多いが、高学年になると発想することに苦手意識を持つ児童も増えてくる。
- ・課題に興味を持って意欲的に活動する児童が多いが、話をしっかり聞き、最後まで集中して学習に取り組む等の基本的な学習態度が身につけていない児童もいる。